

大牟田市企業局上下水道事業運営審議会（第3回）会議摘録

件名 日時 場所 委員 議事	令和5年度第3回大牟田市企業局上下水道事業運営審議会 令和6年2月19日（月） 14:00～17:00 大牟田市役所本館3階第302号経営会議室 出席5名 ○次第2 公共下水道全体計画区域の見直しについて ～答申（案）の審議～ 資料1 今後の公共下水道整備について（第1回審議会資料） 資料2 公共下水道全体計画区域の見直し（案）について（第2回審議会資料） ○次第3 起草 ○次第4 答申
進行	内容
委員長	次第2 公共下水道全体計画区域の見直しについて、前回の審議会で一定の方向性を確認したところであり、本日は審議会として答申をまとめることとする。
企業局	[資料1～資料2] 第1回と第2回の審議内容を改めて説明
委員長	答申（案）の内容を確認する。
企業局	[答申（案）] について説明
委員長	何かお気づきの点等あれば、ご意見を。
委員	答申（案）P1. 提言1公共下水道全体計画の見直しの中で、公共下水道全体計画と公共下水道全体計画区域と、区域が入っているところとそうでないところがあるが、全体計画区域の見直しと聞いていたので、「区域」が入っていないとよいのか。
企業局	公共下水道全体計画の中で、将来的に下水道整備を行う区域を全体計画区域と定めており、その区域の見直しを行うという表現になっている。
委員長	大きな枠組みとしては「計画」、その中の見直しで「区域」をどうしていくかということなので、表現としてはこのままでよいと思うがどうか。
委員会	原案のまま了承
委員長	ほかに何かあれば。
委員	1点目、答申（案）P1. 提言1公共下水道全体計画の見直しの3行目「集合処理としての優位性」の「として」は必要か。 2点目、P1. 提言2公共下水道と合併処理浄化槽の差額の軽減策の4行目「キャンペーン終了後においても、合併処理浄化槽設置補助金の上乗せを検討すべき」という表現で、キャンペーン終了後のことをこの「上乗せ」という表現がいいのか、もしくは、「同等の補助」など広い形にした表現がいいのか、どちらがいいのか。 3点目、P2の3. 答申にあたっての背景（1）公共下水道事業の現状の7行目「なお、区域については整備の進捗状況に応じ順次拡大をしてきた。」の「区域」は「事業計画区域」のことか。そうであるなら事業計画を入れたほうがわかりやすいのでは。
企業局	1点目については、「として」は、なくてもよい。
委員長	「下水道の集合処理としての優位性」の「として」を取ると、「下水道の集合処理の優位性」と「の」が続くため、原案のままでよいと思うがどうか。
委員会	原案のまま了承
環境部 環境業務課	2点目については、水洗化促進キャンペーン後の令和9年度以降の補助金については、第2回審議会でご説明したとおり見通せない不透明な部分があるため、このような表現としている。「上乗せ」を「同等の補助」という表現とすると対応が難しい。
委員長	「設置補助金の上乗せ」となっているため、何をベースにした補助金の上乗せとなるのかがわかりにくい。
企業局	ベースは第2回審議会説明資料のP7. 参考にある令和9年度以降の補助金72.2万円をベースとするということではないか。
環境部 環境業務課	この資料の数字も確定した数字ではなく、見通せるかなという数字となっている。

委員長	「同等」は厳しいか。「同等」としても何をベースにするのかとなるため、何かいい表現はないか。「補助金の継続を検討すべき」は難しいか。
委員	「上乘せ」は、補助が増えると感じ誤解を招きやすい。「継続」となるとこれからも補助が続くのかというくらいの期待感となる。市民は補助がどのようになるのかと思うので、「継続」であれば了承する。
環境部 環境業務課	「継続」でお願いしたい。
委員長	「合併処理浄化槽設置補助金の継続について検討すべき」に修正でよいか。
委員会	了承
企業局	3点目については、ご指摘のとおり「事業計画区域」のこと。
委員長	「事業計画区域」に修正でよいか。
委員会	了承
委員長	ほかに何かあれば。
副委員長	P2.3. 答申にあたっての背景 (2) 公共下水道事業の課題イ改築更新費用の増大の2行目「丁寧な維持管理のもと」の「丁寧な」という表現が企業局の主観が入っているように感じる。「適切な」か「適正な」がよいのでは。
委員	同じく。
委員長	「適切な」に修正でよいか。
委員会	了承
副委員長	P3.3. 答申にあたっての背景 (2) 公共下水道事業の課エ郊外での整備における財政的、技術的課題の2行目から3行目「公共下水道整備の優位性が他の汚水処理手法に比べ低下している。」の「他の汚水処理手法に比べ」が具体的に何のことなのかがわからない。
企業局	ご指摘のとおり「他の汚水処理手法に比べ」は削除したい。
委員長	「他の汚水処理手法に比べ」を削除でよいか。
委員会	了承
副委員長	P4.3. 答申にあたっての背景 (3) 公共下水道と合併処理浄化槽の比較ウ維持管理費について、1から5行目で説明をした後に、7行目で「単純な比較は困難である。」という結論に至る理由がよくわからない。第2回審議会の資料P6.7で数字的なものを出しているのに比較できないのというのが気になる。
企業局	第2回審議会で、整備費用のみの比較ではなく、維持管理費用を合わせたの比較が望ましいのではとの委員からのご意見に対し、維持管理費については、世帯の人数などにより差が大きくなり単純比較が困難であるため、整備費用のみの比較とした説明を行った。P.4のウ維持管理費については、維持管理費に特化した記載としているため、「単純な比較は困難である。」という表現としている。
副委員長	維持管理費のみのことであるなら、原案のまま了承
委員長	答申にあたっての背景の部分になるので、原案のままでもよいと思うがどうか。
委員会	了承
委員長	ほかに何かあれば。
委員会	意見なし。
委員長	いただいた意見を修正し、答申(案)の括弧案を取り、答申の内容としたい。内容の一定の修正、調整については、委員長に一任いただきたいと思うがどうか。

委員会	了承
委員長 企業局	次第3. 起草
委員長 企業局	次第4. 答申 別紙内容の答申書の手交
企業局 (事務局)	貴重なご意見を賜りありがとうございます。 本日の審議会是非公開だが、今後の業務運営に支障のない範囲で摘録を作成し、可能な限りホームページでの公表を検討したい。摘録の内容確認を後日お願いする。
委員長	これで、第3回大牟田市企業局上下水道事業運営審議会を閉会する。
	閉会